

おばあちゃんへ

島根県 玉雲寺 副住職 曾根慎吾

「身心自らも愛すべし自らも敬うべし」。これは大本山永平寺を開かれた道元禅師様のお示しです。「自分自身を愛しなさい。自身を敬いなさい」というこの教え、はじめてこの教えと出会ったとき「どうして他の人ではなく自分なのだろうか？」と、私はこの教えの意図が良く分からずにいました。

ですが、昨年ふいに訪れた祖母との別れによって、この教えがいかに大切かを知ることになりました。祖母はいつも私を応援してくれていました。私が大学生の頃に仏道を志し出家を決意した時、すごく喜んでくれたことを覚えています。

思い出の中の祖母は、いつも笑顔で賑やかで冗談ばかり言っている人でした。そんな祖母が安らかに眠る姿を見ると、別れを覚悟していたつもりでしたが自然と涙が溢れてきました。

祖母の葬儀を終え、親戚一同で在りし日の祖母の思い出を語り合っていた時、一本の動画を見ました。それは祖母と、曾孫にあたる私の姪の動画でした。動画の中で祖母は、当時まだ一歳の姪に「仏様、ご先祖様には、こうやって手を合わせるんだよ」と合掌の仕方を熱心に教えていました。それを見て私は胸が熱くなりました。

動画を見終えた時「自分も姪と同じように祖母から合掌を教えて

もらい、仏様、ご先祖様を敬う心を育ててもらったんだろうな」と改めて祖母への感謝の思いがあふれてきました。そして同時に「今の私の合掌は、自分だけの合掌ではないのだ」と気づかせて頂きました。「この合掌は祖母の合掌でもあり、さかのぼれば、お釈迦様の時代からずっとずっと長い歴史の中で多くの人が繋いできた合掌を、今私はさせて頂いているのだ」と実感しました。そして「私の命もまた、これまで多くの人が繋いできた命を、今生きているのだ」と改めて感じました。

「身心自らも愛すべし自らも敬うべし」「自分自身を愛する事、自分自身を敬うことがどうしてそんなに大切なのか？それはこの命が私の命であるのと同時に、私だけの命ではないからです。ここまで繋いでくださった多くの方々の命が、人生が詰まっているのです。

だからこそ自分自身を大切にすることは、即ち仏様、ご先祖様を大切にすることであり、仏様、ご先祖様を大切にすることは、自分自身を大切にすることなのだ、旅立つ祖母が気づかせてくれました。愛することの出来る自分、敬うことの出来る自分であり続けたと思います。おばあちゃん、長い間、お疲れ様でした。いつまでも見守っていてください。合掌